

# アンラーニングプロジェクト・2013

## 「拒否」が拓く地平——日本の「構成」的解体の方へ

2013.5.26

レポート 藤岡 彰弘

### 『拒否』の〈前〉線をさぐる・1

#### ——反・脱原発運動の展開の中から

#### 1 〈3・11〉以降の足取りをたどり直す

##### 2011年

- 4 / 10——富山市内デモ 企画運営に携わる
- 4 / 29 ~ 5 / 3——志賀原発現地周辺へビラまき
- 6 / 11——脱原発サウンドデモ(富山市内)
- 6 / 25・26——福島へ、南相馬市を訪れた後、福島市内でのデモと集会に参加
- 7 / 24——風下住民パレードに参加(金沢市内)
- 8 / 16 ~ 10 / 6——「反原発キャラバン」県内15市町村を回る
- 9 / 19——1000万にアクションに参加(東京 明治公園)
- 10 / 27 ~ 29——富山県庁前公園、福島の女性たちに連帯する座り込み

##### 2012年

- 3 / 25——大飯原発再稼働反対集会に参加(福井市内)
- 4 / 26——「安全協定」にかかわる「命のネットワーク」の要請行動に参加(氷見市、七尾市、中能登町、羽咋市)
- 6 / 3——「大飯を止めろ」福井集会とデモ参加(福井市内)
- 6 / 10——「さよなら志賀原発」のデモと集会に参加(金沢市内)
- 7 / 14——金曜官邸前行動に参加(東京)
- 7 / 15——全国相談会(再稼働阻止ネットの準備会、東京都内)
- 7 / 16——「さよなら原発10万人集会」に参加(東京 代々木公園)
- 8 / 17 ~ 28——「越境ネット」県内全市町村への要請行動
- 8 / 18——「北電本社総行動」集会とパレードに参加(平和運動センター+原発をなくす連絡会)
- 9 / 20・9 / 30——「福島原発告訴団・北陸」石川集会・富山集会に参加
- 10 / 21——「さよなら志賀原発」の志賀町内ビラ入れに参加
- 11 / 11——「再稼働阻止全国ネットワーク」発足集会

- 11 / 12——国会包囲行動に参加、アピール
- 12 / 8——『もんじゅ』を廃炉へ」全国集会に参加（敦賀市）
- 12 / 9——再稼働阻止ネット西日本交流会に参加（大飯原発前へ）

## 2013年

- 1 / 25・26——再稼働阻止ネット、研修合宿に参加（東京都内）
- 3 / 3——富山ガレキ阻止大会に参加（富山市内）
- 4 / 13・14——再稼働阻止ネット、交流集会に参加（羽咋市）
- 5 / 18・19——再稼働阻止ネット、柏崎連帯ツアー（柏崎市、刈羽村）

## 2 <3・11>以降の多様な反・脱原発運動の展開

### <再稼働阻止>

- 「再稼働阻止全国ネットワーク」（12年11月発足）
  - ・再稼働が急迫する立地点とその周辺の運動と  
（伊方・福井・泊・東海・志賀など）
  - ・「消費地元」としての首都圏、関西圏の運動との連携

資料  
A

### <被曝労働>

- 「被曝労働を考えるネットワーク」（12年11月発足）
  - ・フリーター、非正規労働者を主体とした組合運動と
  - ・労災、労働安全・衛生などに取り組む運動などが結びついて発足

資料  
B

### <自主測定>

- 「生産者と消費者をつなぐ測定ネットワーク」（11年12月発足）
  - ・生産者と消費者双方が汚染の情報を共有することが必要

資料  
C

### <避> 被曝

- 「避難・移住・帰還の権利ネットワーク」（12年6月発足）
  - ・「子ども・被災者支援法」の有名無実化を許さず、各運動を結集して原発事故被害者の政策要求を後押しする

資料  
D

●「汚染ガレキ」の広域処理に反対する運動

- ・「ノー・モア・放射能キャンペーン@富山」（12年2月発足）
- ・各地の運動と連絡を取り合いながら、岩手県内の運動との連携も進める

資料  
E

〈告訴／告発〉

●「福島原発告訴団」（12年3月発足）

- ・福島県内はもちろん、全国各地に事務局を置き、各地の運動との連携を図る

資料  
F

●「原発民衆法廷」（12年2月発足 第一回法廷）

- ・東京電力と日本政府の刑事責任をさまざまな立場からの証人の証言をもとに、全国各地で開く法廷で追求し、問題の共有をひろげ、深める。

資料  
G

〈つなぎ手・中継〉

●「経産省前テントひろば」（11年9月開設）

- ・全国の「拒否」の運動の“へそ”として自ら経産省を相手としつつ、各地の運動の中継点、つなぎ手を自認し、官邸前行動などで大きな役割を果たす。

資料  
H

●福島の女性たちの動き（11年10月頃より）

- ・テントひろば開設とともに福島から出て来てテントを拠点にハンスト、座り込み、かんしょ踊りとこれまでの運動の枠を超えた活動を続け、今は各地を飛び回る。

資料  
I

### 3 〈前〉線はどのように存在するか（今後の課題として）

① 〈3・11〉以降の大きな分岐点

- 大飯原発3、4号機再稼働の持つ意味
- 「大飯の闘い」がもたらしたもの
- 旧来までの運動の限界をどう超えるのか

② 〈阻止〉と〈避難〉と〈現場〉と

- （2011.6.30）に福島で感じたこと
- 「被曝」労働にどう向きあうか

③ 〈つなぐ〉こと

- 福島の女性たちの動きから